

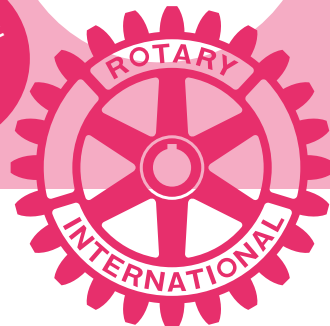


国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 佐久間 英一
会長 宮崎 登志行
幹事 采女 真弓



人類に
奉仕する
ロータリー



第20回例会 H.28.12.7 (水) ☀

- ▶開会点鐘 ▶国歌斉唱 ▶ロータリー歌斉唱「奉仕の理想」
- ▶ロータリーの目的・四つのテスト唱和 鈴木尚子さん
- ▶ゲスト紹介 采女真弓幹事 <ゲスト> 福島県立聾学校 校長 芳賀孝美様

副会長挨拶

小林由拓 副会長

今日は会長代理を務めさせていただきます。社会奉仕委員会の活動の中で、聾学校と長くお付き合いさせていただいており、芳賀校長先生の卓話を楽しみにまいりました。お話を伺って今後の活動の参考にさせていただきますと思います。本日はよろしく願いたします。

スマイルBOX報告

佐藤洋子委員長

- ☺ 岩山慎一 ▶ お寒くなりました。お気をつけて!
- ☺ 滝田幸子 ▶ 誕生日のお花ありがとうございました。充実した人生を歩んでいきたいと思っております。

- ☺ 佐藤 功一 ☺ 味戸誠一郎 ☺ 大山三起雄
- ☺ 宗形 千鶴 ☺ 高橋 功 ☺ 宮澤キヨ子
- ☺ 武藤起代子 ☺ 橋本 弘幸 ☺ 佐藤 洋子

12月の誕生祝

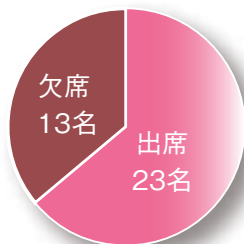
石堂勝壽 親睦活動副委員長

バースデーカードをお渡しいたします。誕生日にお花が届きます。大山三起雄さん



出席報告

宮澤キヨ子 委員長



総員 36名
出席率 63.89%
前回修正率 100%

理事会報告

采女真弓 幹事

例会前に理事会が開催され、1・2月のプログラムについて話し合われました。2月8日(水)は午後6時30分からの夜の例会でしたが、本田哲夫中央分区ガバナー補佐がインターシティミーティング(IM)のご案内に来られるため通常例会となります。

幹事報告

采女真弓 幹事

- (1) 2月18日にIMが開催されますので多数のご出席よろしくお願いいたします。
- (2) 2月18日のIMの前に新会員セミナーが開催されます。後ほどご案内を差し上げますのでご出席よろしくお願いいたします。
- (3) 福島民報・福島民友に毎年恒例の新春広告を掲載させていただきます。

プログラム/ゲスト卓話

■ゲスト紹介 藤田弘美 社会奉仕委員長

芳賀孝美校長先生にはお忙しい中を快くお引き受けいただき感謝申し上げます。今日の担当例会のために小野田副委員長も出席してくださいました。郡山アーバンRCが発足した翌年度から聾学校との交流が始まり、平成10年から野球大会を行い、寄付や用品の寄贈をさせていただいております。平成23年の東日本大震災の年にはFM補聴器、昨年はロジャーペン(補聴器機)やユニフォームを寄贈させていただきました。

福島県立聾学校 校長 芳賀孝美様



郡山アーバンRCの皆様には長年ご支援をいただき、本当にお世話になっております。県立聾学校には幼稚部、小学部、中学部、高等部があります。聾学校というと手話を使うとか、音のない静かなイメージがあるかと思いますが、現在は医療の進歩により人工内耳や補聴器の性能も

裏面へ続く→



プログラム／ゲスト卓話

→表面からの続き

良くなり、聴覚を活用して口話でかなり話をしています。本校は郡山市大槻町にあり、福島、会津、いわきに分校があります。福島分校は盲学校と同じ敷地内にあり、会津分校は養護学校の校舎の中にあります。私は会津分校に 3 月までおりました。いわきの平分校の敷地内には東日本大震災で原発から 6 キロの場所にあった富岡分校が避難しており、仮設校舎があります。特別支援学校の中で盲・聾の歴史は古く、明治 41 年に私立の盲の方々のための訓盲校として開校し、聾の子供たちも入って学校の名前も変わってきて、今年で創立 108 年目になります。昨日の新聞に校名変更の記事が出ておりましたが、県議会で条例改正が通れば聾学校から聴覚支援学校とする動きがあります。

現在の本校には幼稚部 3 名、小学部 21 名、中学部 26 名、高等部 23 名、合計 73 名がいます。聾学校は各県に 1 校ほどあり、全国的に生徒数は減っていますが、福島だけは現状維持か微増しています。より専門的な教育を目指して早期から相談を行っていることから、幼稚部から入れる保護者の理解が広がっているように思います。人工内耳のお子さんは 23 名おり、電子的な音ではありませんが、聴覚を活用できるようになります。

本校には県内各地から来ております。分校は幼稚部と小学部までしかありませんので、中学に入学する時に郡山に集合します。そのために寄宿舎があり、現在 27 名の中学以上の生徒が生活しております。同じ敷地内に教育委員会ではなく保健福祉部の施設である光風学園があり、家庭の事情で児童相談所が措置している子供さん 3 名がおります。

自立と社会参加に向けて学校経営運営ビジョンを策定しております。中学部では職場見学、進路学習会、先輩の話を聞く会などを行っております。高等部の進路状況では、毎年ではありませんが国立大学に行く生徒がおり、今年は 1 名がすでに宮城教育大学の推薦入学が決まっております。デフバスケットの日本代表で世界大会にも行き、生徒会長でもあるスーパースターですが、素直で謙虚な生徒です。専攻科のある東京の立川聾学校に行く生徒もおります。一部上場企業の製造部門に就職内定をいただいた生徒もおり、重複障害の生徒も福祉サービス事業所などに就職しております。卒業まで地域と連携してきめ細かな支援を行っております。

子供たちは県内各地から来ていますが、障害がなければ地元の学校に通うはずですので、それらの学校との交流を行っています。学期に 1 度ほどですが地域の学校に通います。校長先生から「とても優秀だ」との感想もいただいています。幼稚部から聾学校に来ていると、地域の子供たちと接点がないため、居住地交流をしたいとの保護者の希望により、地域の学校や教育委員会と連携しながら交流の場を設けております。本校の近くの大槻小学校との交流は長く、お互いのクラブ活動や水泳、持久走、行事などに参加しています。本校には 200mトラックがありますので、隣の大槻中学校の陸上部と一緒に練習しております。片平中学校とは授業交流を行っております。幼稚部は地域のひまわり保育所と交流しております。中学部・高等部は中体連・高体連に加入しており、バドミントン、卓球、陸上などで参加しています。東北聾学校体育大会では卓球と陸上で活躍しています。特筆すべきは

中学部の生徒が、普通の中学生と一緒にジュニアオリンピック県大会 200m で 8 位になりました。耳が聞こえにくいだけで、身体能力の高い生徒もおります。地域のボランティア活動もいろいろ行っています。

教員の専門性としては当然と言えますが、人工内耳や補聴器の理論的なことや、手話を自然に覚えます。聞こえの良い子供たちが増えてきたとはいえ、手話や指文字は必要です。初めて聾学校に来た先生も、1 学期を過ぎると手話を使って授業を進めることができるようになります。さらに専門の先生等による研修も行っています。どこの学校でもいじめ防止の基本方針を立てています。聾学校での深刻ないじめはありませんが、手話の熟達度の違いなどにより、相手の気持ちを理解できなかったり、自分の考えを伝えきれなかったりすることにより、コミュニケーションのトラブルのようなことがおきることがあります。その都度、丁寧に指導しており、むしろそれをきっかけにして生徒指導に結び付けております。避難訓練や防災教室も実施しております。0 歳から学校に入るまでの保育相談を行っており、現在は 3 歳までの 11 人が本校に定期的に通っています。一般の学校にも聴覚障害のある子供たちがいて、先生方からの要請があれば専門的な支援方法などを指導しています。「出前授業」として一般の子供たちに聞こえについて説明すると、聴覚障害の子供の周りで騒ぐと聞こえにくいことを知り、正面を向いて口を大きく開いて話をするようになります。子供たち同士の関わりが深まることを興味深く見てきました。10 月 29 日に行いました学習発表会の映像をご紹介します。楽器を演奏したり歌を歌ったりしている様子をご覧くださいと思います。聞こえにくい中で音を合わせるのは非常に難しいことですが、声を出してうまく演奏できています。郡山アーバンRCから今年は卓球ユニフォームを頂きました。以前にいただいたマイリンク (FM 受信システム) は口話に結びつき、本当に助かっております。今後ともよろしく願いいたします。

ロータリー財団寄付者

■味戸誠一郎 ■高橋 功 ■橋本 弘幸
■松川 義行

米山記念奨学会寄付者

■佐藤 洋子 ■大山三起雄 ■味戸誠一郎
■高橋 功 ■橋本 弘幸 ■滝田 幸子
■白岩 邦俊

ポリオ寄付者

■橋本 弘幸 ■宮澤キヨ子